



# 開知

令和6年6月5日号

佐世保市立世知原小学校  
校長 兼 正晴

いのちを見つめる日校長講話

～医師 日野原重明 先生の言葉より～

## 命って、どこにあるの？

頭、心臓、心・・・

いのちは、きみたちがもっている時間だといえます。

いのちは、だれにでも平等にあります。

一日一日の時間の中にいのちがあるのです。

その時間をみんなのいのちとして、大切にしてほしいのです。

人が生きていく上で、もう一つ大事なことがあります。

それは「こころ」です。

おたがいに手をさしのべあって生きていくこと。

こころを育てるとは、そういうことです。

自分以外のことのために、時間を使おうとすることです。



※祖母がつぶやいていた「一日一日を大切にしたい」との言葉を思い出しました。学校の壊れている柱時計を修理しようと思います。(校長)

## ☆☆☆☆世知原小アレコレ、「昭和25年校舎」について☆☆☆☆



戦後間もない昭和25年当時の校舎です。旧講堂と東校舎ができており、校庭には、まだ小さいクスノキが植えられています。赤レンガの校門から、玄関まで道が通じています。右上校舎は、昭和23年に創立した中学校の新校舎です。木浦原の旧海軍兵舎の木材を使用し建築したとのこと。この中学校校舎は後に小学校校舎、幼稚園舎、そして跡地が旧公民館・旧町体育館となりました。現在は、小学校体育館、町講堂となっています。

## 令和6年度「いのちかがやく強調月間」について

佐世保市内小中学校において、これまで「いのちを見つめる強調月間」として実施されている事業です。今年度、事業の名称が「いのちかがやく強調月間」と変更され、20回目の実施となります。本校は、『相手に思いを寄せ、やさしい子どもをみんなで育てましよう。』をテーマに実施しています。子どもたちの心に思いを寄せること、心を見つめることなど・・・心を視点にしなが、強調月間に取り組んでいます。



心は目に見えないもので、分かりにくいものですが、その気持ちを言葉などにすることができます。言葉で相手に伝えることで、子どもたちの心の安定や成長につながります。とかく行動や出来栄え、テストの点数等で判断しがちですが、その内にある心を大切にしたいところです。ご家庭におきましても、子どもたちの心（気持ち、願い、思い等）の声を聞く機会を設けていただきますようお願いいたします。

学校では、子どもたちの心を見つめる機会として、道徳の時間の公開や心の調査、全児童との個人面談に取り組めます。

## 浄水器設置

佐世保市教育委員会より、市内小学校に浄水器が設置されました。熱中症対策として、水筒の中身がなくなったときに、補充するための浄水器です。世知原の子どもたちは、水よりもお茶を飲むことを好んでいるようですが、水筒の中身がなくなった時には、浄水器の水を利用するよう指導をしています。



## 縦割り班活動



6年生がリーダーとして活躍しています。

本校では、1年生から6年生を縦割りにし、一班12名程度で班活動を行っています。世知原の子どもたちは、保育園時代からのつながりもあり、いたって仲よしの関係性があります。その上に、それぞれの学年に応じた立場を考え、役割や責任をもちながら活動することで、より深い関係性を構築できるものと考えています。これから生きる子どもたちにとって、相手や自分の立場に応じた関係性をもつことは、大切な力となるのではないのでしょうか。

### 縦割り班（8班）

あさがお	カトレア	さざんか	たんぽぽ	なでしこ	はまゆう	マーガレット	やまぶき
活動							
縦割り掃除		花いっぱい運動		なかよしタイム		その他	
毎週火曜日 6年生がリーダー 無言掃除		花苗植え 年2回 プランターで寄せ花		ふれあい遊び 折り鶴作り等		昼休み、多くの子どもたちが、学年を超えて遊んでいます。	